

『日本のものづくりについて考える』

-最近の事故・事件・出来事に鑑みて-

講師：古阪秀三（京都大学工学研究科教授）



おわりに

・新国立競技場の整備計画は心機一転、スタジアムの性能、工期、コストの上限等を示した新たな整備計画を策定し、これに基づき、公募型プロポーザル方式（設計・交渉・施工タイプ）による公募を行い、応募者2社の競争となっている。

・12月をめどに実施者を選定し、新国立競技場に向けた新しいステップに入っていく。その見守っていきたい。

参考文献

1. 新国立競技場整備計画検討委員会 検証報告書、新国立競技場整備計画委員会 10/20
2. 新国立競技場整備計画検討委員会 検証報告書の概要（日本